



ヴェーダ

地域の皆さん向けの広報誌

基本理念

- ・信頼される病院
- ・こころあたたまる病院
- ・地域に開かれた病院
- ・常に向上心をもって働く病院

基本方針

- ・患者中心の医療と権利の尊重
- ・高度・特殊医療、救急医療、へき地医療等の充実
- ・地域の医療、保健、福祉との連携推進
- ・患者サービスの向上と安心感の確保

第4回 南加賀地区地域医療連携講演会・情報交換会 「～ありがとうとさよならがひとつになる時～ 在宅ホスピス医からのメッセージ」 在宅ホスピスを学ぶ

小松市民病院の南加賀地区地域医療連携講演会は、7月14日(土)、市内のホテルサンルート小松で開催されました。当日は台風の悪天候にもかかわらず、南加賀地区の医療・福祉機関の医師・看護師・職員ら128人が参加しました。末期がん患者・家族に対する在宅ホスピスについて、日本ホスピス・在宅ケア研究会常任理事で、ふじ内科クリニック(山梨県甲府市で開院)院長の内藤いづみ先生から、多くのものを学ぶことができました。特に印象的であったのは、1人の末期がんの患者さんが、ホスピスケアを受けながら静に天寿を全うされる過程がビデオで流されている間、会場は静まり返り、見終わった直後、会場中に割れんばかりの拍手が起こったことです。

この後、情報交換会ではこの感動を話し合う姿が、ここかしこで見られました。



のぶき会「活花ボランティア」

平成12年暮れから始めた「活花ボランティア」も、早いもので7年目を迎えました。

先日300回の作品を活け込みました。

これまで私たちのつたない作品を展示させていただいたことを感謝します。ありがとうございます。

現在4人の会員が、毎週日曜日に活け込みを行っています。作品としては、身近にある材料を活用し、自然を表現するように心がけていますが、なかなか思うようになりません。特に夏場は花材も少なく、すぐに劣化してしまいます。枯れたりしおれたり、見苦しくならないように絶えず見回りが欠かせません。

活け込みを考えながら花を植え、育てること、1本の花材を求めて野山へ車を走らせることも、私たちにとってはとても楽しいことです。



また、なによりも「病院へ来てこのお花を眺めると心が癒される、いつも楽しみにしている」と言われたり、活け込みをしていると病棟からわざわざ降りてこられ「今度はどんなお花か楽しみにして見に来ました」などと声をかけてもらえると、嬉しくなります。

活け込みを終え、次回の打ち合わせをしながら、お茶をいただくときが私たちにとって心癒される時間です。

500回活け込み達成を目標に、これからも楽しく「活花ボランティア」を続けたいと願っています。



医療 NOW

くも膜下出血の治療 について

脳神経外科

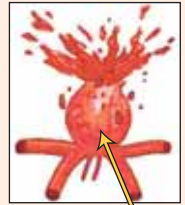
はじめに

脳動脈瘤とは脳の血管に袋状の“こぶ”ができた状態のことです。脳動脈瘤が破裂すると、“くも膜下出血”をおこして約半数の方が死亡します。また動脈瘤が大きくなって脳を圧迫すると運動麻痺や言語障害などの神経症状が出現することがあります。

脳動脈瘤の治療は、従来は開頭手術を行い動脈瘤に金属製のクリップをかける方法（開頭クリッピング術）でした。しかし近年は血管カテーテル技術の発達によって、動脈瘤内にプラチナコイルを詰めて動脈瘤を閉塞する（血管内塞栓術）ことも行われます。動脈瘤の場所や大きさ、形、向きによって適切な治療法が選択され、二つの方法を組み合わせて治療する場合があります。

くも膜下出血とは

頻度；10万人につき年間約20人。40～60歳に最も多い。
原因；約80%は脳動脈瘤の破裂。
症状；経験したことのない激しい頭痛、嘔吐、意識障害。
経過；約半数が死亡する（病院到着前に15%が死亡）。



動脈瘤



正常の頭部 CT



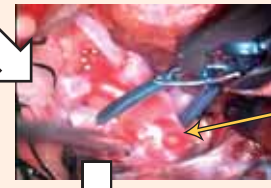
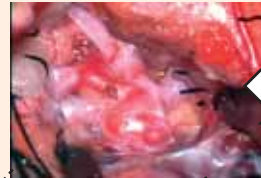
くも膜下出血；白い部分



MRA 画像

開頭クリッピング術について

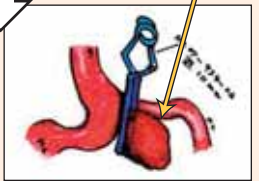
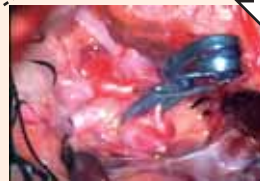
- 長所；動脈瘤をほぼ確実に治療できる。
手術中に出血しても対処が可能である。
- 短所；全身麻酔が必要である。
正常血管の閉塞による脳梗塞の危険がある。
手術に対する恐怖感を伴う。



動脈瘤



手術に使われるクリップ



血管内塞栓術（コイルリング）について

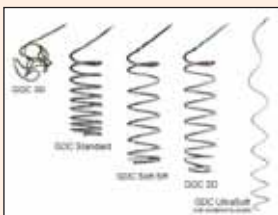
- 長所；足の付け根の動脈からの注射（大腿動脈穿刺）で治療できる。
局所麻酔で行うことができる。
- 短所；動脈瘤を完全に閉塞できない場合がある。
手術中に出血すると止血が困難である。
正常血管の閉塞による脳梗塞の危険がある。
治療後にコイルが縮んで再治療を要することがある。



マイクロカテーテル



コイル



治療に使われるコイル各種



治療前の動脈瘤



コイルで治療

おわりに

当院では病態や動脈瘤の性状に応じてどちらの治療が適切か判断し、患者様や御家族に説明して治療を行っています。開頭クリッピング術は顕微鏡の導入によってほぼ完成された治療法ですが、血管内塞栓術（コイルリング）は発達途上にあります。さらなる技術の向上によって将来的にはより多くの脳動脈瘤を血管内から治療できる可能性があります。常に最良の治療を行えるように努力しています。



医療 NOW

薬剤科
より

化学療法とは・・・Q&A



がんの治療と聞くとほとんどの方が手術、放射線療法や化学療法を想像されることと思います。

また、化学療法と聞けば毒性の強い薬剤による副作用が第一の不安に挙げられるのではないのでしょうか？ 現在では多くの化学療法剤が開発され、適正に使用することにより効果を発揮しています。これらは、日本を含め多くの国々で報告されており、副作用を軽減する薬剤や強い副作用が抑えられた化学療法剤も開発されています。

Q 化学療法とは・・・

A 元来、病原寄生体（ウイルスや細菌など）によっておこる疾患に対し、患者に危害を与えない化学物質による治療法であったのですが、悪性腫瘍に対する場合も同様に呼ばれるようになりました。

Q 化学療法の目的・・・

- A** ①腫瘍が原因で発生する症状を軽減する。
- ②手術に先立って腫瘍を小さくする。
- ③手術や放射線療法で残っている可能性のある顕微鏡でも観察できない程度の微細がん細胞や関連物質を根絶する。
- ④手術の適応外等に行われる。
がん細胞は、多くの要因によって体じゅうで生まれ成長と再生を続けます。その発生部位やがん種によって薬剤や治療法が選択されます。薬剤やその組み合わせは、国内外を問わず臨床使用成績に基づく信頼されたデータから決定されます。

Q どうして効くの・・・

A 白血病細胞を含むがん細胞は、さかんに分裂・増殖する特徴をもっています。多くの抗がん剤は、細胞の分裂・増殖をじゃますることによって効果を発揮します。最近では、がん細胞にだけダメージを与える薬剤もつくられつつありますが、多くの薬剤は正常の細胞にも多少のダメージを与えます。抗がん剤はその由来や作用の仕方に基づいて、代謝拮抗剤・アルキル化剤・抗がん性抗生物質・植物アルカロイド・免疫治療剤・ホルモン製剤などに分類されます。

Q 抗がん剤の種類について・・・

A ■**アルキル化剤**
分子中に持っているアルキル基ががん細胞と結合することにより、がん細胞のDNAを破壊したり複製を阻止する効果があります。通常量でも効果を発揮しますが、この薬剤は投与量を増やせば増やすほど殺細胞効果が増す性質（濃度依存性）があるため、大量投与もよくおこなわれます。

■**代謝拮抗剤**
がん細胞の代謝を阻害することによって、がん細胞の機能に障害を与えて、がん細胞の増殖を抑えます。おもに核酸の合成に関係した代謝を阻害します。

■**抗がん性抗生物質**
がんの細胞膜を破壊したり、DNAを分解したり合成を阻止したりします。DNAやRNA（リボ核酸）の合成を阻害する薬剤です。

■**植物アルカロイド**
RNAの合成阻害作用があるとされています。

■**ホルモン製剤**
がん細胞にホルモンが結合する部分に、反対の作用をするホルモン剤またはホルモン拮抗剤が先に結合して、抗がん作用を示します。

■**免疫治療剤（免疫賦活剤）**
私たちの体が本来持っている、がん細胞に対する抵抗力を高めることによって、間接的に抗がん作用を示します。

■**その他の抗がん剤**
一般にアルキル化剤に似たDNA合成阻害作用を持っているといわれています。



南加賀地区訪問看護ステーション・小松市民病院との連携の会が発足

平成19年6月27日（水）、第1回の南加賀地区訪問看護師・小松市民病院 連携の会が開催されました。11施設の南加賀訪問看護ステーションの保健師・看護師等と小松市民病院医師・看護師等が出席。参加者からは、地域において良質の医療・看護を提供するため連携の会設立と今後の活動のほか、現状の在宅における療養の問題点や訪問看護の必要性について、熱心に意見交換がされました。





医療 NOW



小児科Q&A、ときどきA&Q

小児科部長
上野 良樹

(嘔吐その2：これは心配編)

Q 近ごろ噴水みたいに吐くんですけど大丈夫でしょうか？

A お母さんに抱っこされてやってきたのは1ヶ月健診が終わったばかりの翔太ちゃん、男の子です。元気にミルクをいっぱい飲んでいたので、今は飲むたびに吐いてしまいます。体重は健診の時から減ってしまいました。赤ちゃんに限らず成長期にある子どもの体重が減ることはまずありません、体重減少はいつでも要注意サインです。これは生後1ヶ月前後に見られる肥厚性幽門狭窄症といって原因はまだよく分かりませんが、胃の出口にある幽門の筋肉が肥厚するために通過障害を起こすのです。吐き方は噴水という表現がぴったりで、まさにお母さんの観察のたまものです。治療は外科手術が一般的で翌日から普通に飲めるようになります。

Q 朝から何度も吐いて元気がないんですけどどうすればいいのでしょうか？

A 「すぐ連れてきてください。」
病院にやってきた7ヶ月の翔ちゃんはぐったりして顔面蒼白です。おむつを開けるとイチゴジャムのような血便が出ていました。腸重積です。下痢をとまなうこともありますが、原因なくとつぜん始まるのがほとんどです。小腸の末端の部分が大腸にはまりこむので、時間がたち腸壁の腫れや壊死がおこってしまうと泣く泣くお腹を切らなければなりません。症状が出て12時間くらいまでなら肛門側から圧をかけて戻すことができます。5~6才まではなる可能性がありますが、ほとんどは1~2才までです。3才くらいになると嘔吐もなく周期的にお腹を痛がるだけのこともありますので、痛みかたがおかしいと思ったら受診してください。

トピックス①

清掃ボランティア



6月30日に小松鋼機の「鋼会」による清掃ボランティアが行われました。参加者約70人が、各フロアの掃除や周辺の草むしりとともに、車いすや点滴スタンドなどの空気圧の確認を行いました。清掃は同社の社会貢献活動として、11年前から毎年続けられています。

トピックス②

夏を彩る高校生の生け花展

池坊全国学校華道会加盟する小松市内の高校生は、小松市民病院に夏を彩る数々の生け花を展示し、患者さんや職員の心を和ませました。

池坊小松支部役員で、石川県いけ花文化協会副常務理事の大野松友さん、同協会評議員の芦辺松寿さんが指導している小松、小松明峰、小松北、北陸大谷の4校の生徒38人が参加。7月23日から27日までを前・後期に分けて、ユリやヒマワリなどをあしらひ、さわやかな作品を仕上げました。



編集後記

この夏、病院の中庭にあるプランターの中で鳩が卵を産み付けていました。親鳥は常に卵を抱きかかえて雛を外敵から守り、1ヶ月後、ついに、雛がかえった光景には、親が子を思う気持ちや子に対する愛情がみてとれ、微笑ましく感じさせられました。

国民健康保険 小松市民病院

〒923-8560 石川県小松市向本折町ホ60
TEL(0761)22-7111(代) FAX(0761)21-7155
URL <http://www.hosp.komatsu.ishikawa.jp/>
E-mail cbsomu@city.komatsu.ishikawa.jp